

セル型補強材と地山補強材による 斜面補強工法(RRS工法)

基礎・土構造研究室

- ◆ 既設盛土・切土のり面や自然斜面の耐震・耐降雨補強を行うことができます。
- ◆ 狭い施工空間でも、小型削孔機等と人力を併用することで施工が可能です。
- ◆ ジオセル内に自然素材を充填することで、景観性が向上します。

概要 既設盛土および既設切土のり面・自然斜面等を対象に、地震や降雨による崩壊が懸念される箇所に対するのり面保護および耐震・耐降雨対策を目的として開発された斜面補強工法です(図1～図3)。

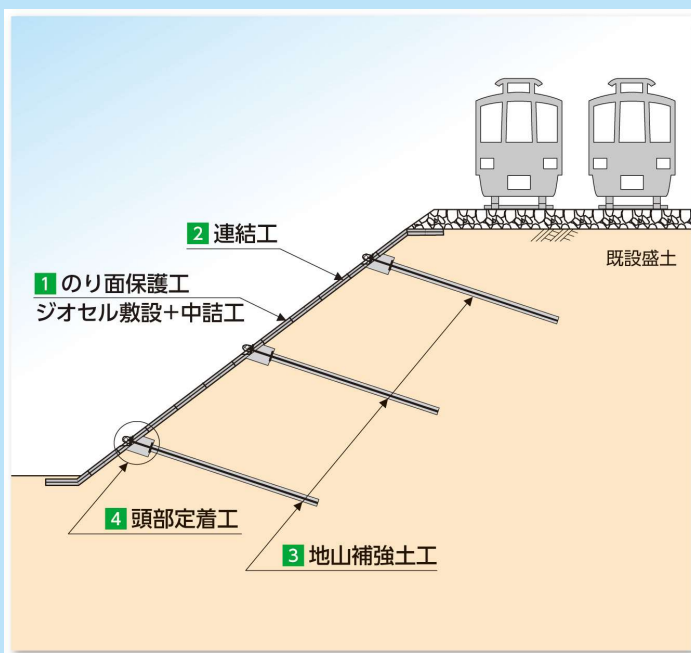


図1 RRS工法の概要

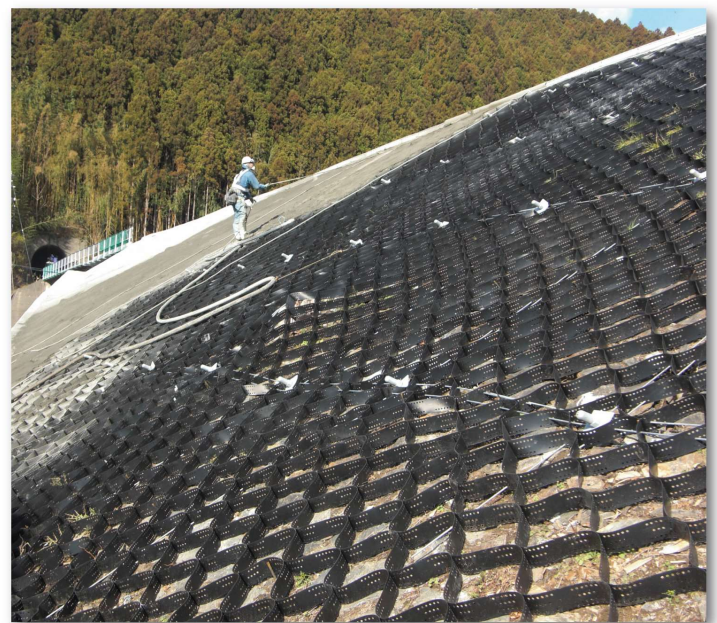


図2 RRS工法の施工

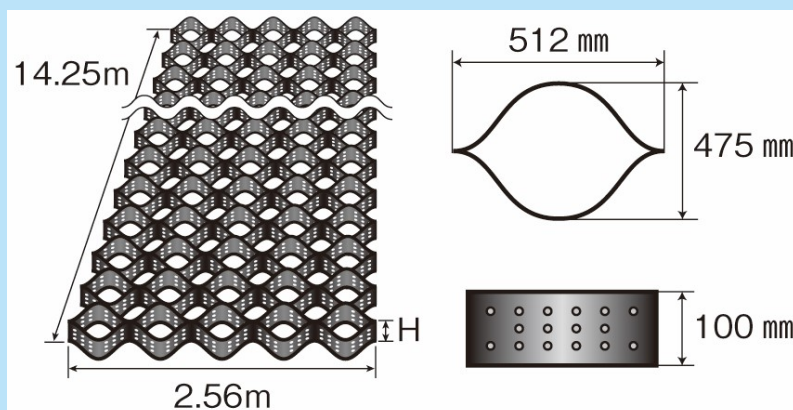


図3 ジオセルの概要

のり面保護工、連結工、地山補強土工、頭部定着工

工期 65m²/日

工費 16,000円/m²(地山補強材長3m、7m²につき1本打設の場合)

施工条件により工期・工費は変わります。詳細は別途ご相談ください。

※本工法は、ライト工業株式会社、東京インキ株式会社、株式会社複合技術研究所と共同で開発したものです。

※問合せ先: 東京インキ株式会社 加工品営業本部 TEL:03-5902-7627